

歩く国東半島  
ロングトレイルの魅力

# 世界農業遺産の魅力を存分に楽しめる

## 国東半島峯道ロングトレイルの

### “K-4”・“K-5”コースが

#### 11月22日(土)・23日(日)にオープンします



狭間新池



赤松の里 原木の野伏せ

国東半島峯道 みねみち  
ロングトレイルとは

ロングトレイルは、登山道や古道などをつなぎ合わせた距離の長い自然歩道のことです。宿泊しながら地域の自然や文化、そして地域の人のふれあいを楽しむ「歩く旅」とも言えます。国東半島では古くから、六郷満山寺院の僧侶たちが国東半島を巡る「峯入行」が行われていました。この峯入りの道を基本に、トレッキングやウォーキングの醍醐味を味わうことのできる登山道や遊歩道を追加し、楽しく、心地よく歩けるトレイルとして再構成したものが「国東半島峯道ロングトレイル」です。日本の原風景が色濃く残る神仏習合発祥の地、くさき。瀬戸内海国立公園の絶景や六郷満山寺院、「世界農業遺産」に認定されたクスギ林やため池などを通り、国東半島の自然・歴史・文化の魅力が存分に詰まったコースレイアウトとなっています。

### コースは10区間

豊後高田市の熊野磨崖仏から、国東市の両子寺まで至る10コース、総延長約137キロメートル。11月1日までに、6コースが開通しています。コース名の「T」は豊後高田市、「K」は国東市のコースを示しています。

国東市のコースは、国見町西方寺から安岐町の両子寺までの6コース、約85キロメートルの行程です。すでに昨年12月にK-1(豊後高田市六所宮から岩戸寺)、今年5月にK-2(岩戸寺から文殊仙寺)、K-3(文殊仙寺から行入ダム公園)が開通しています。

そして、今回は、行入ダム公園から報恩寺公園までのK-4と、報恩寺公園から梅園の里までのK-5が開通します。



### K-4、K-5コースの魅力



丸小野寺

11月にオープンするコースは、世界農業遺産に認定された日本一のクスギ林とため池による連携システムを堪能できます。

また、赤松地区の原木の野伏せや狭間地区のため池、丸小野地区の原木しいたけ生産のホダ場、吉広地区の広大なクスギ林など、すばらしい里山の風景に出合う旅です。さらに、六郷満山寺院である丸小野寺や報恩寺を巡り、地域の自然や文化にふれあえるコースとなっています。